

ご門主本願寺山科別院ご巡拝日程

2016(平成28)年7月11日(月) 於 本堂

時間	行事
15:30	記念式典 (式次第) 開式の辞 挨拶(輪番) ご門主様ご焼香 勤行(讃仏偈) 御消息(親読) 御消息拝受 随行長挨拶 恩徳讃 閉式の辞
16:10	記念布教
16:30	記念行事 (式次第) 開会の辞 コーラス (参拝者と一緒に合唱) 講演「山科本願寺の歴史」 ご門主様お言葉 閉会の辞
17:45	山科別院御発



▲記念布教
特命布教使 内田正祥師 (東海教区 三重組 正覚寺住職)



▲輪番挨拶①



▲輪番挨拶②



▲教化団体などの参拝風景

《ご門主との懇談会》



ご門主は記念式典に先立って崇敬区域である東海、滋賀両教区の青年僧侶ならびに別院門徒の6人(写真・上)とご懇談されました。

記念式典

記念式典では、約200名の参拝者を前に、ご門主が「伝灯奉告法要についての消息」をご親読されたのち、随行長の光岡理學総務から渡邊信輪番に「御消息」が拝受され、そのあと随行長が挨拶をされました。



▲「ご消息」をご親読されるご門主

伝灯奉告法要についての消息

去る平成26年6月6日、前門主の跡を承けて法統を継承し、本願寺住職ならびに浄土真宗本願寺派門主として務めてまいりました。ここに法統継承を仏祖の御前に奉告いたしますとともに、あわせて本願念仏のご法義の隆盛と宗門の充実発展とを期して、平成28年および29年に、伝灯奉告法要をお勤めすることになりました。

阿弥陀如来のご本願は、あらゆる存在を分け隔てなくそのまま救おうとはたらきかけていただきます。迷いと苦悩をかかえる私たちは、阿弥陀如来のお慈悲ひとすじにこの身を任せ、真実のさとりの世界であるお浄土に生まれていくべき身にならせていただきます。宗祖親鸞聖人が「そらごとたわごと」とお示しくださった私たち自身を含む迷いの世界は、何一つとしてたよりになるものはありませんが、ご本願のはたらきの中に生きる私たちは、確かな依りどころを持つことができます。

科学技術の発達による便利で豊かな生活の追求や欲望の肥大化はとどまることを知りませんが、人々は、そのような豊かさのみを追求することの虚しさや気づきはじめていないでしょうか。しかも、核家族化・人口の流動化などによって社会構造は大きく変化し、人間関係は希薄となり新たな悩みや不安を生み出しています。さらに世界に眼を移せば、武力紛争、経済格差、気候変動、核物質の拡散など、人類の生存に関わる課題が露呈しています。これらの傾向は今後一層強くなっていくことと思います。

私たちは、凡愚のまま摂め取って捨てないとはたらき続けていくくださる阿弥陀如来のお慈悲を聞きさせていただき、その有り難さ尊さを一人でも多くの方に伝えることが大切です。それとともに仏智に教え導かれて生きる念仏者として、山積する現代社会の多くの課題に積極的に取り組んでいく必要があります。まさにこのような営みの先にこそ、「自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する」道が拓かれていくのでありましょう。

このたびのご法要が、親鸞聖人によって明らかにされた阿弥陀如来の救いはたらきに依りながら、時代の変化に対応する宗門の新たな第一歩として意義を持つものでありたいと思います。宗門では、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年に向けて新たな長期計画が策定されます。皆様の積極的なご協力とご参画を心からお願いいたします。

平成27年 1月16日
2015年

龍谷門主 釋 専 如



▲随行長挨拶 (光岡理學総務)



▲「ご消息」拝受

